



並木中等story

令和4年4月7日号

4月7日に実施した入学式の校長式辞の抜粋です。

●本校は並木中等教育学校となり15年目を迎えることとなりました。自制、自律、自尊の教育理念のもと将来を見据えたキャリア教育を充実させて参ります。

●新入生の皆さんは**スーパーサイエンスハイスクール**とは何か知っていますか。それは先進的な理数教育を実施するとともに、大学や研究機関との連携や、国際性を育むための取組を推進する学校のことです。本校はこの春にスーパーサイエンスハイスクールの第3期の申請が認められ、令和8年度まで延長することになりました。皆さんには今後6年間、最先端の科学についても学んでもらう予定です。楽しみにしててください。

●ここで、私から、新入生の皆さんに3つのお願いがあります。

一つ目は、大きな志や目標を持ってほしいということです。本校は茨城県及び県民から、日本そして世界のリーダーを育てて欲しいという願いのもと設立された学校です。つまり、皆さんはリーダーの候補生です。人は、「このようになろう!」と思い続けているとそのようになっていくものです。是非、将来のリーダーを目指してください。

二つ目は、学ぶと共に、考え続けてほしいということです。現在は新型コロナウイルスの感染拡大、地球温暖化、ウクライナでの戦争など解決が難しい問題が数多くあります。このような時代のリーダーは、新しい発見やイノベーションを起こせる力が必要です。この力を付けるには、既存の学習だけでは身に付けられません。本校では、リーダーを育てるため、対話力を強化しています。「なぜ、何、どうしてなんだろう。」と疑問を持ち、投げかけてください。そして、考えて、考えて、考え続けられる生徒になってほしいと思っています。そのための学習機会を本校ではたくさん設けています。考えた分、苦労した分、皆さんは成長します。

三つ目は、失敗を恐れないでほしいということです。並木中等では、一人で話したり、説明したりする機会がたくさんあります。しかし、安心して下さい。本校では「失敗してもいいですよ。思い切って発表してください。参加してください。」と話をしています。いろいろな発明や成功も失敗なしには生まれません。皆さんには、七転び八起きの精神で挑戦し続けてもらいたいです。

●新入生の皆さんの毎日が、充実したものとなりますよう心からお祈りして、式辞といたします。